

歯科材料 8 歯科用石こう及び石こう製品  
一般医療機器 歯科高温鑄造用埋没材 70900020  
**ニューファインベスト**

**【形状・構造及び原理等】**

## 1) 形状

本材は下記成分より構成される。

構成成分	性状	成分
埋没材粉末	粉末	石英／クリストバライト／リン酸アンモニウム／マグネシア その他
専用液	液体	コロイダルシリカ

## 2) 原理

埋没材粉末を専用液又は水と練和することにより、結合材のマグネシアとリン酸アンモニウムが反応して、硬化する。

**【使用目的又は効果】**

無水ケイ酸、マグネシア、りん酸塩、コロイダルシリカ等を主成分とする鑄造用埋没材。歯科鑄造用コバルト・クロム合金の鑄造に使用する。（金属床用）

**【使用方法等】**

①耐火模型の製作は本材粉末100gに対し、ニューファインベスト専用液13mLの割合で30～60秒間真空練和し、寒天印象に注入します。約30分で耐火模型を取り出します。

●専用液を使用した場合の本材の物性（室温23℃）

標準混液量(粉末100gに対して)	専用液13 mL
初期硬化時間	4分
熱膨張（800℃）	1.3%
圧縮強さ(2時間後)	15.3 MPa

自社測定データに基づく参考値

②外埋没は本材粉末100gに対し、水14mLの割合で約1分間真空練和します。

●水を使用した場合の本材の物性（室温23℃）

標準混液量(粉末100gに対して)	水14 mL
初期硬化時間	5分
熱膨張（800℃）	0.9%
圧縮強さ(2時間後)	13.0 MPa

自社測定データに基づく参考値

③外埋没後、60分以上経過してからワックスの焼却を開始します。300℃まで60分で昇温し、30分係留した後、800℃まで90分以上かけて昇温し、60分以上係留後、鑄造します。

●混液比及び鑄造温度は合金により調整が必要になる場合があります。

**【使用方法等に関連する使用上の注意】**

- ・本材をワックス焼却する際は、急速加熱は避けること。
- ・粉・液の計量は正確に行うこと。
- ・使用時（練和時）の温度は20℃前後が好適である。

**【使用上の注意】**

## 1) 使用注意

- ・本材を扱う際（硬化体を研削する場合を含む）には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
- ・本材の硬化体を研削する際には、目の損傷を防ぐために、保護眼鏡等の防具を使用すること。
- ・本材の加熱（ワックス焼却）は、局所排気装置、換気扇などを設けた場所で行い、加熱により発生するガスを吸入しないこと。
- ・専用液は、直接皮膚に付着させないこと。
- ・耐火模型の製作には、ニューファインベスト専用液以外の

専用液は使用しないこと。

- ・専用液は、石こう・食塩・酸などが混入するとゲル化するので、これらを混入させないこと。
- ・粉末開封後は、密封して保管すること。
- ・専用液は、乾燥すると濃度が変わったり、沈殿が生じ使用できなくなる恐れがあるので、密栓して保管すること。
- ・本材を廃棄する場合は、粉塵が発生しないようビニール袋などに詰め、産業廃棄物として廃棄すること。
- ・本材は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。

・本材は、歯科医療有資格者以外の人は使用しないこと。

## 2) 重要な基本的注意

- ・本材が目に入らないように注意すること。万一目に入った場合には、直ちに大量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けること。

## 3) その他の注意

本書の記載内容は、作成/改訂時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、新しい知見により改訂することがあります。

**【保管方法及び有効期間等】**


## [保管方法]

- ・本材は、高温・多湿の場所を避けて保管すること。
- ・専用液は、氷結させると使用できなくなるので、0℃以下にならない冷暗所で保管すること。
- ・歯科医療従事者以外の人が触れないように適切に保管・管理すること。

## [有効期間]

本材は包装に記載の使用期限\*までに使用すること。

[記載の使用期限は自己認証（当社データ）による。]

※（例） ○○○○-○○ は  
使用期限○○○○年○○月 を示す。）

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売/製造 株式会社トクヤマデンタル

住所 〒314-0255茨城県神栖市砂山26

\* 電話番号 (フリーダイヤル) 0120-54-1182

ご使用前に本書の  
使用上の注意をよく  
お読み下さい。